資料2

ゾーン30プラス等の通学路安全対策について

令和8年8月

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

目次

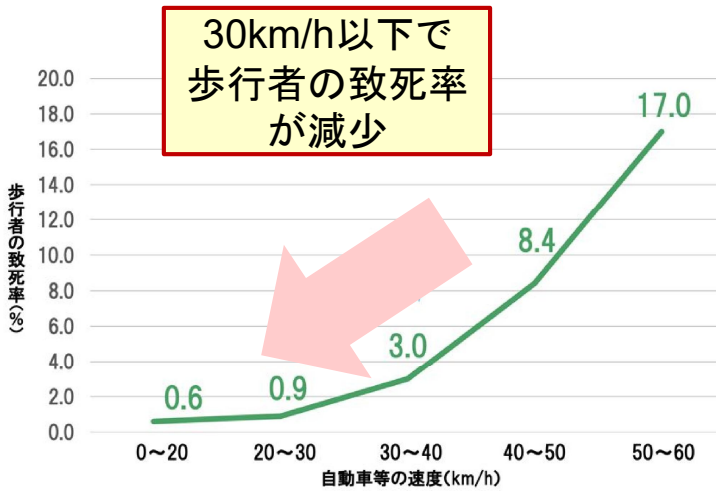
1. ゾーン30プラス等の通学路安全対策の概要
2. ゾーン30プラス 効果検証結果（続報）
　① 盛岡市 西見前（にしみるまえ）地区
　② 盛岡市 向中野（むかいなかの）地区
3. ゾーン30プラス 効果検証実施方針（案）
　① 矢巾町 煙山小学校（けむやましょうがっこう）地区
4. 今後のスケジュール

1. ゾーン30プラス等の通学路安全対策の概要

国土交通省

- 人対車両の事故では、衝突速度が30km/h以下のとき致死率が大幅に減少することから、**最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスとの適切な組合せ**により安全性の向上を図る区域を**「ゾーン３０プラス」として設定**して対策を実施。
- 道路管理者と警察が連携し、地域住民等の合意形成を図りながら、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間を整備。

■ 衝突速度と歩行者の致死率



【出典】
警察庁資料より作成
※1「自動車等」とは、自動車、自動二輪及び原動機付自転車をいう。
※2 平成29年から令和3年までに車道幅員5.5m未満の道路の単路で発生した人対車両事故の分析による。
※3 致死率とは、死傷者数に対する死者数の割合をいう。

■「ゾーン30プラス」の対策

警察による低速度規制（ゾーン30）



●進入抑制対策
●速度抑制対策

道路管理者による物理的デバイス設置

●進入抑制対策


ライジングボラード


ハンプ


スムーズ横断歩道

●速度抑制対策


狭さく


クランク


スラローム



看板





路面標示

1. ゾーン30プラス等の通学路安全対策の概要

国土交通省

- 岩手県内の「ゾーン30プラス」等の通学路安全対策取り組み箇所は以下のとおり。



	市町村	地区名	ゾーン30プラス整備計画策定時期	対策実施状況	効果検証報告
①	花巻市	四日町（よっかまち）・下幅（したはば）地区	R4.2	R4.11完了	R5年度第２回安推連で報告済み
②	盛岡市	西見前（にしみるまえ）地区	R5.3	R7.9完了	**今回報告(続報)**
③	盛岡市	向中野（むかいなかの）地区	R5.3	R7.9完了	**今回報告(続報)**
④	矢巾町	煙山小学校（けむやましょうがっこう）地区	R6.3	R7.12完了	**今回検証方針を報告 第2回で結果報告予定**
⑤	雫石町	雫石小学校（しずくいししょうがっこう）地区	R7.3	対策実施中	－
⑥	一関市	山目（やまのめ）地区	R8.3	対策実施中	－
⑦	紫波町	中島（なかじま）地区・高水寺（こうすいじ）地区（ニュータウンエリア）	R8.3	対策実施中	－
⑧	釜石市	中妻（なかづま）地区	R8.3	対策実施中	－

※下線付きは「通学路安全対策「モデル地域」」

【今回報告内容】

盛岡市西見前地区、向中野地区は**効果検証結果を報告**
矢巾町煙山小学校地区は**効果検証方針を報告**

2. ゾーン30プラス 効果検証実施方針（案）

国土交通省

- **盛岡市西見前地区、向中野地区については、**令和7年度（R8.2）に一度効果検証結果を報告
  ⇒対策後の冬期間（12月～３月）データの効果検証・分析が未了。
  【今回】冬期間も含めたのデータの効果検証・分析を報告
- **矢巾町煙山小学校地区については、**令和7年度（R7.12）に短期・中長期対策が完了。
  【今回】効果検証実施方針（案）を報告

○今回報告箇所一覧

地区名	短期対策 完了時期	短期対策 効果検証	中長期対策 完了時期	中長期対策 効果検証	対策実施内容等	令和8年度の取組方針（案）
盛岡市 西見前地区	令和7年 3月	R7第2回で報告済み 今回続報を報告	短期対策の効果検証を踏まえ判断	ー	・交通違反取締、最高速度30km/h区域規制 ・狭さく、カラー舗装、ゾーン３０プラス看板および路面表示 ・登下校時の見守り活動	■令和7年度第2回安推連（前回） 対策前：R3年1月～12月（12か月分） 対策後：R7年4月～11月（8か月分） で速度、急挙動、抜け道利用等を分析。 ⇒対策後の冬期間（12月～３月）データの効果検証が未了 ■令和8年度第1回安推連（今回） 対策後：R7年4月～R8年3月（12か月分） の分析結果を追加で報告
盛岡市 向中野地区	令和7年 3月	R7第2回で報告済み 今回続報を報告	短期対策の効果検証を踏まえ判断	ー	・交通違反取締、最高速度30km/h区域規制 ・スムーズ横断歩道、カラー舗装、シケイン（クランク型）、ゾーン３０プラス看板設置、交差点クロスマーク、狭さく ・登下校時の見守り活動	
矢巾町 煙山小学校 地区	令和7年 12月	R8第2回以降で報告予定	令和7年 12月	R8第2回以降で報告予定	・最高速度30km/h区域規制 ・狭さく、カラー舗装、中央帯撤去、車道幅員狭小化、路肩拡幅、ゾーン３０プラス看板および路面表示 ・登下校時の見守り活動	・今回、効果検証実施方針（案）を報告 ・令和8年度第2回以降の安推連で効果検証結果を報告予定

2. ゾーン30プラス 効果検証結果（続報）

国土交通省

- 前回安推連では、対策前2021.1～12（①12ヶ月）、対策後2025.4～12（②9ヶ月）のデータで比較を実施。
- 今回、データが揃ったことから、冬期を含む対策後2025.4～2026.3（③12ヶ月）のデータで更新。
- **期間平均の差異をみると、冬期を含む分、平均走行速度及び30㎞/h超過割合の低下が見られた。**

西見前地区	①2021.1～12	②2025.4～11	②-①	③2025.4～2026.3	③-①
急ブレーキ発生割合	3.0%	2.3%	-0.7%	2.3%	-0.7%
平均走行速度	24.8km/h	25.5km/h	0.7km/h	25.0km/h	0.2km/h
30km/h超過割合	57.9%	59.5%	1.6%	57.0%	-0.9%
通過交通割合	56.6%	55.0%	-1.6%	55.0%	-1.6%

向中野地区	①2021.1～12	②2025.4～11	②-①	③2025.4～2026.3	③-①
急ブレーキ発生割合	4.2%	1.8%	-2.4%	1.7%	-2.5%
平均走行速度	10.2km/h	12.0km/h	1.8km/h	11.6km/h	1.4km/h
30km/h超過割合	23.4%	21.6%	-1.8%	19.3%	-4.1%
通過交通割合	41.2%	33.7%	-7.5%	32.9%	-8.4%

冬季を含む分、
平均走行速度及び30㎞/h超過割合が低下

2. ゾーン30プラス 効果検証結果（続報） ①盛岡市 西見前（にしみるまえ）地区

国土交通省

- 盛岡市西見前地区は、見前小学校周辺の「ゾーン30プラス」エリアであり、エリア内では当該小学校指定の通学路が存在する。
- 令和4年度に整備計画が策定され、**令和7年3月に短期対策が完了。**

「ゾーン30プラス」整備計画（岩手県盛岡市 西見前（にしみるまえ）地区）

■エリア概要

・本地区は幹線道路に隣接するエリアで住宅街の中に小学校が立地。幹線道路から通過する車両が多い。

位置図



■目的・対策

・通学路として利用している小学校の児童が交通量の多い道路を横断する箇所が存在している。
・児童の安全対策として狭さくや交差点のカラー舗装などの事業を実施。

■主な対策内容

【警察（盛岡東警察署（TEL：019-606-0110）】

・交通違反取締、最高速度30km/h区域規制

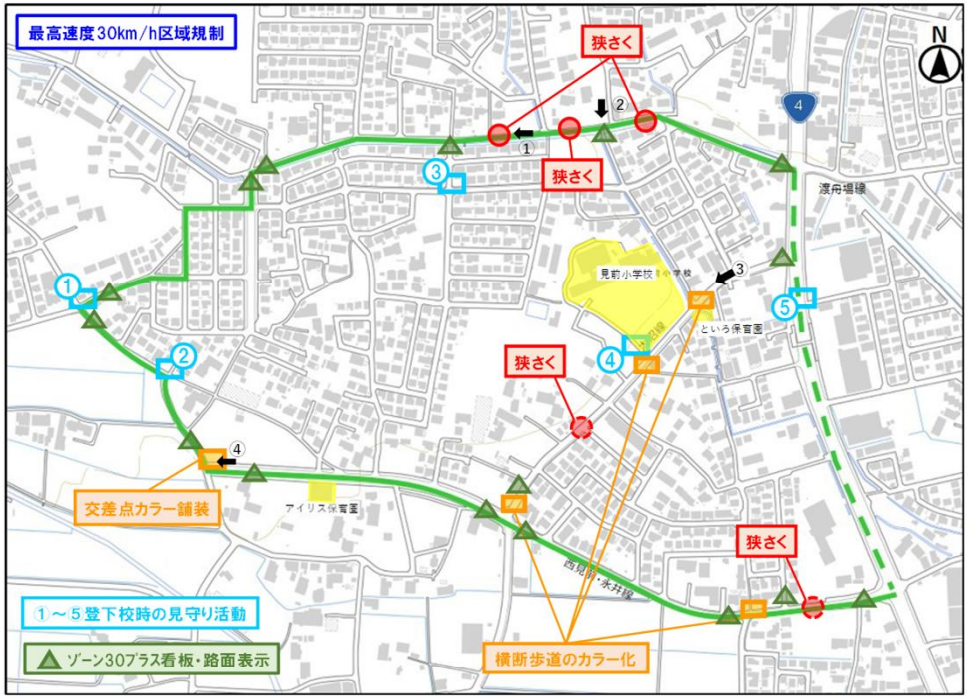
【道路管理者（盛岡市役所建設部道路管理課（TEL：019-651-4111）】

・狭さく、カラー舗装、ゾーン30プラス看板および路面表示

【地域（地域住民等）】

・登下校時の見守り活動

※対策内容の詳細については、上記の問い合わせ先にご連絡ください。



出典：国土地理院地図

■対策の実施状況



狭さく



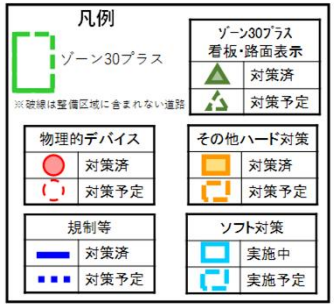
ゾーン30プラス路面標示・看板の設置



横断歩道カラー舗装



交差点カラー舗装



※　今後、実施した対策の効果検証を行い、更なる対策の必要性等について検討していきます。（ＰＤＣＡサイクルの継続的な取組）

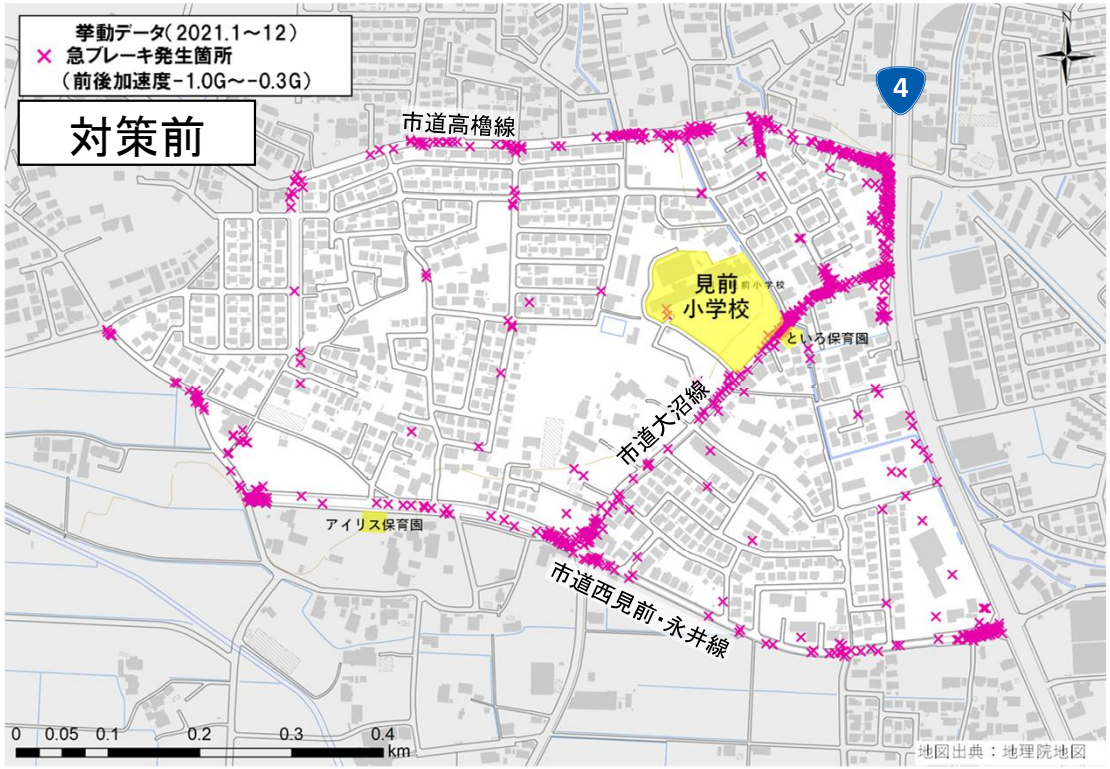
2. 効果検証結果 ①盛岡市西見前地区

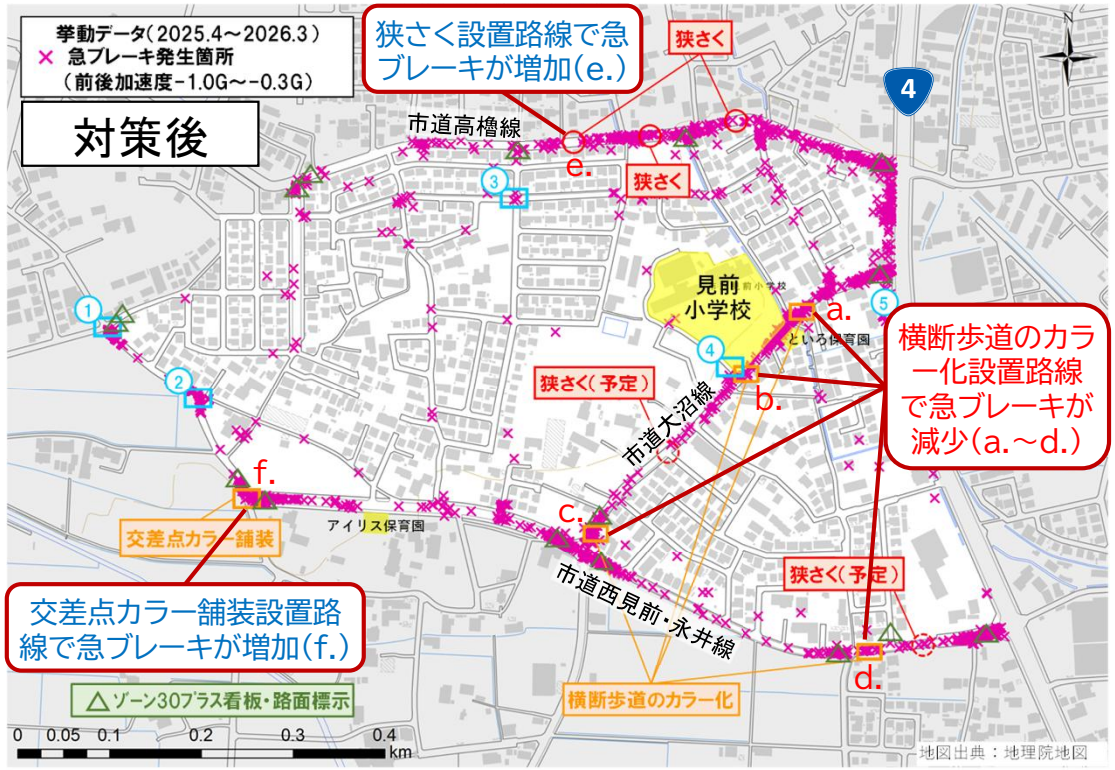
ETC2.0プローブデータによる分析結果
急ブレーキ

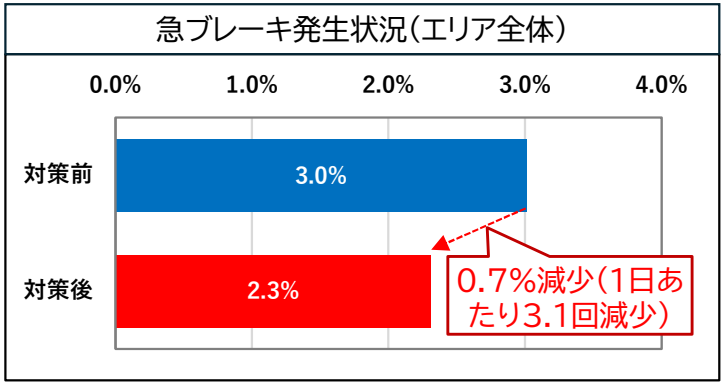
国土交通省

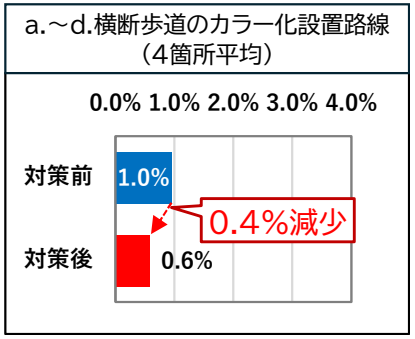
- エリア全体では、**急ブレーキ発生**が約3.0%から約2.3%へ**約0.7%減少（1日あたり約3.1回減少）**。
- **横断歩道のカラー化設置路線で急ブレーキが減少**し、改善傾向にある。
- 狭さく設置路線や交差点カラー舗装設置路線では、急ブレーキが増加。

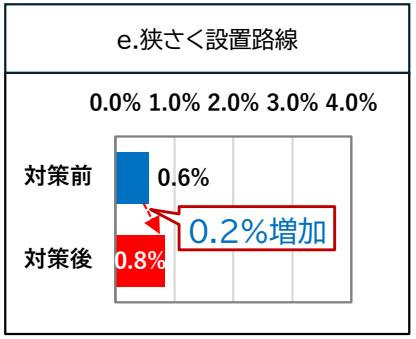
■ 対策前後の効果（急ブレーキ発生状況）

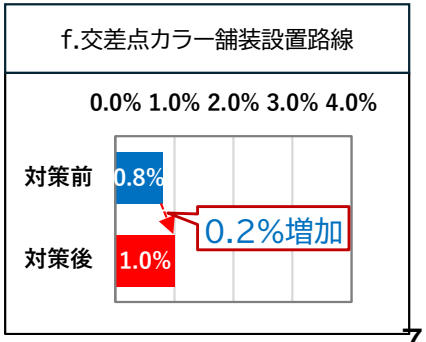












データ出典：ETC2.0プローブデータ（2021.1～12平日昼間12h、2025.4～2026.3平日昼間12h ）

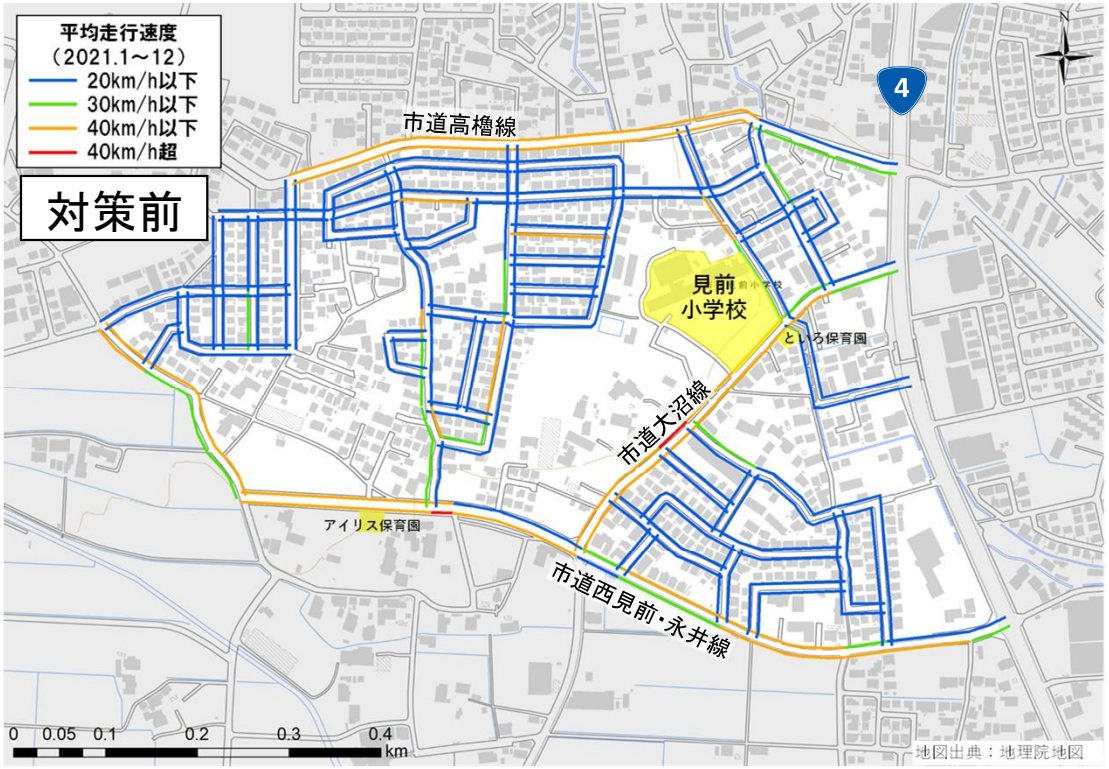
2. 効果検証結果 ①盛岡市西見前地区

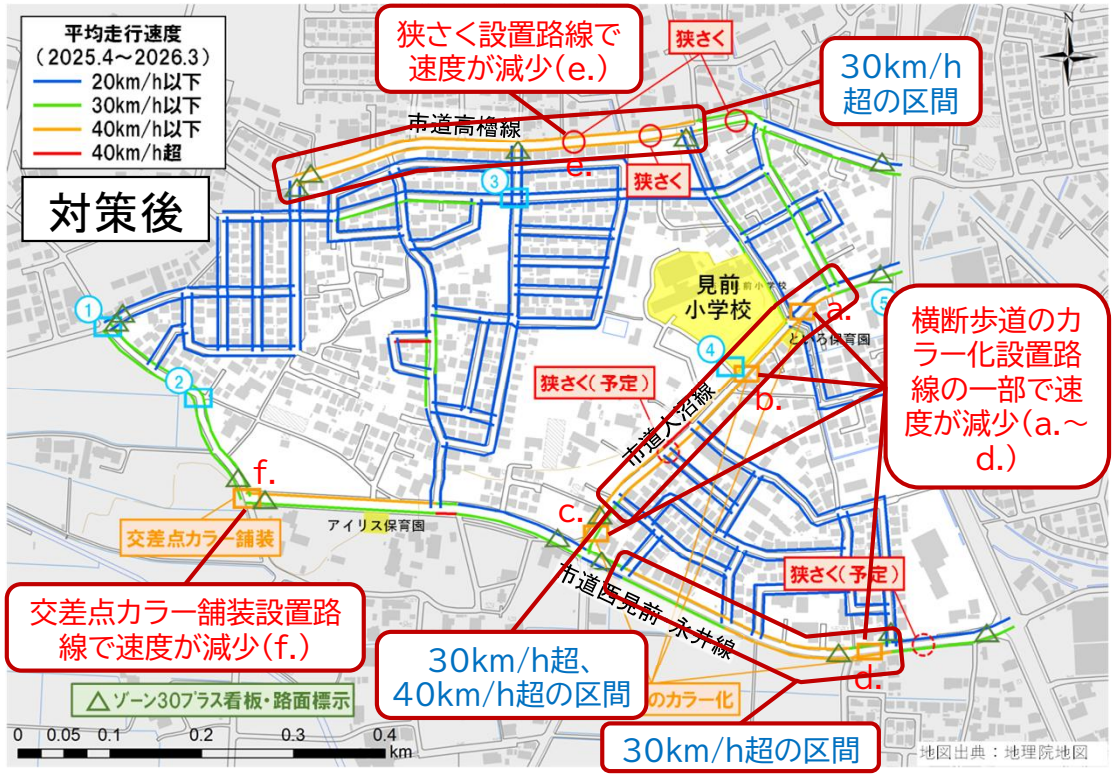
ETC2.0プローブデータによる分析結果
平均走行速度

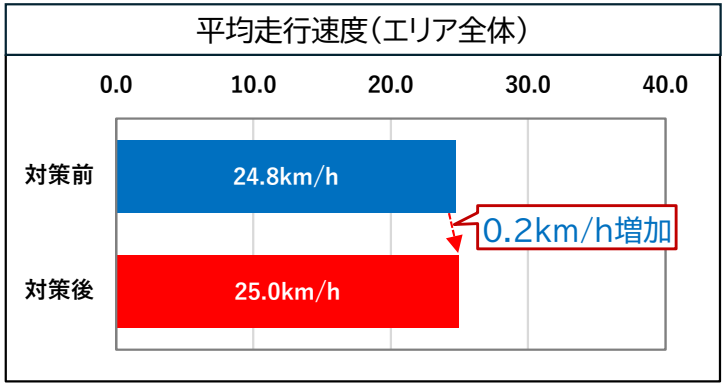
国土交通省

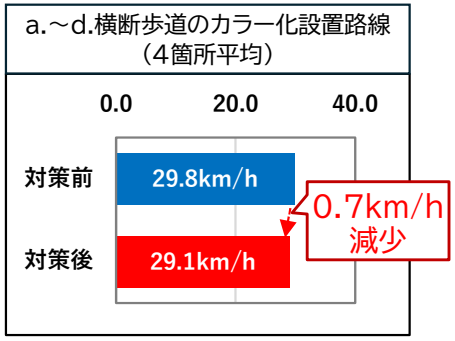
- エリア全体では、**平均走行速度**が約24.8km/hから対策後約25.0km/hへ、**約0.2km/h増加**。30km/hの状態は維持。
- **狭さく設置路線**での**減少**が認められるが、当該区間を含む外周部北側の**高櫓線では30km/h超過**。
- 同様に外周部南側の**西見前・永井線、見前小南側の大沼線でも30km/h超過**。

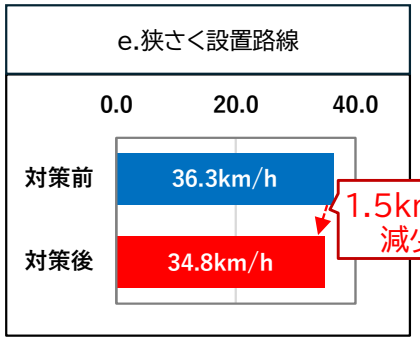
■ 対策前後の効果（平均走行速度）

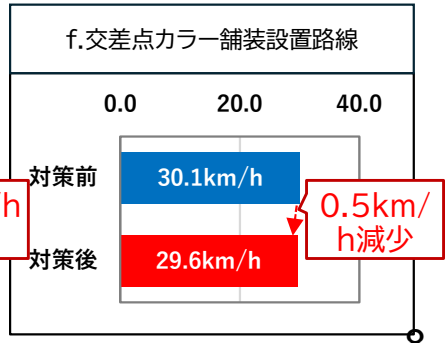












データ出典：ETC2.0プローブデータ（2021.1～12平日昼間12h、2025.4～2026.3平日昼間12h ）

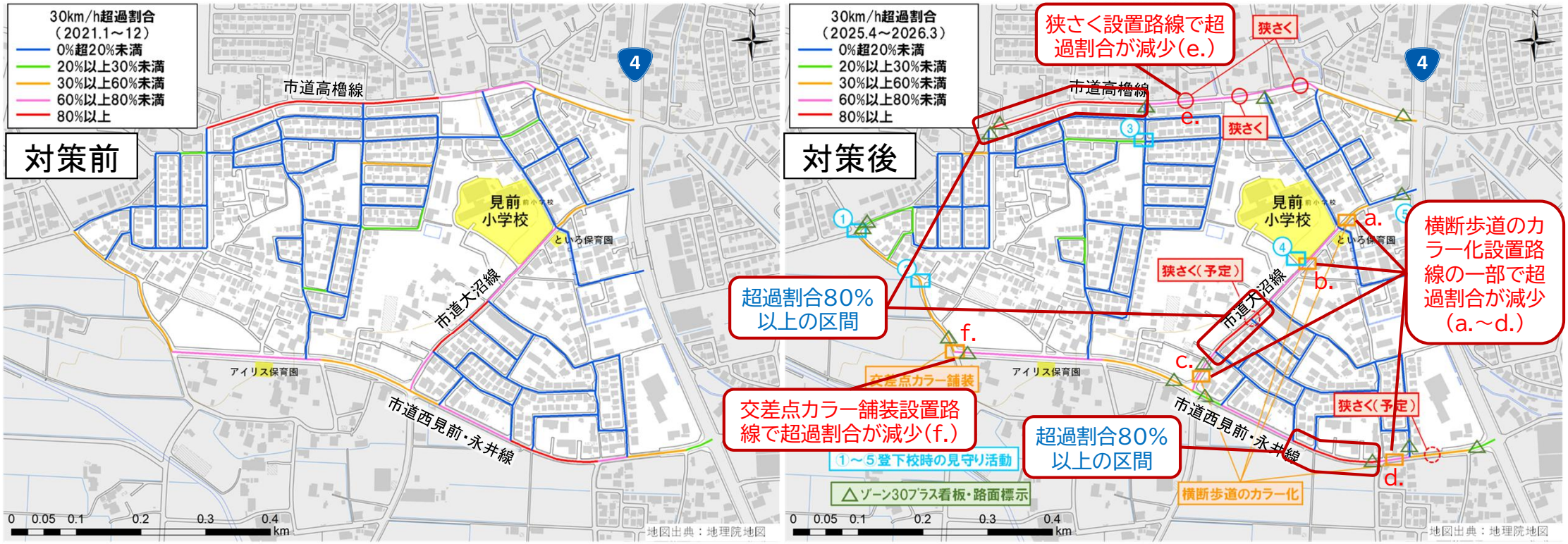
2. 効果検証結果 ①盛岡市西見前地区

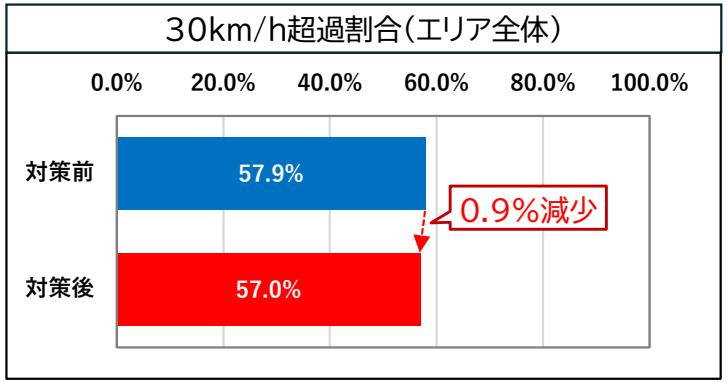
ETC2.0プローブデータによる分析結果
30km/h超過割合

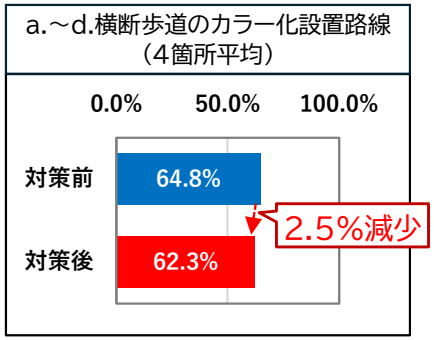
国土交通省

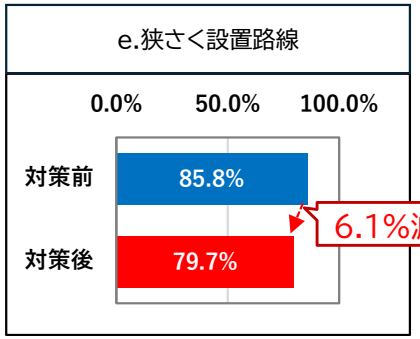
- エリア全体では、**30km/h超過割合**が約57.9%から対策後約57.0%へ、**約0.9%減少**。
- **狭さく設置路線**での**30km/h超過割合の減少**が認められるが、当該区間を含む**外周部北側の高櫓線では30km/h超過**。同様に**外周部南側の西見前・永井線、見前小南側の大沼線でも30km/h超過**。

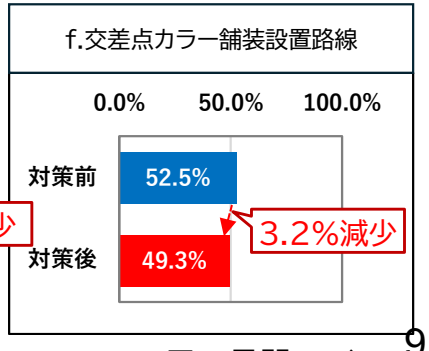
■ 対策前後の効果（30km/h超過割合）











データ出典：ETC2.0プローブデータ（2021.1～12平日昼間12h、2025.4～2026.3平日昼間12h ）

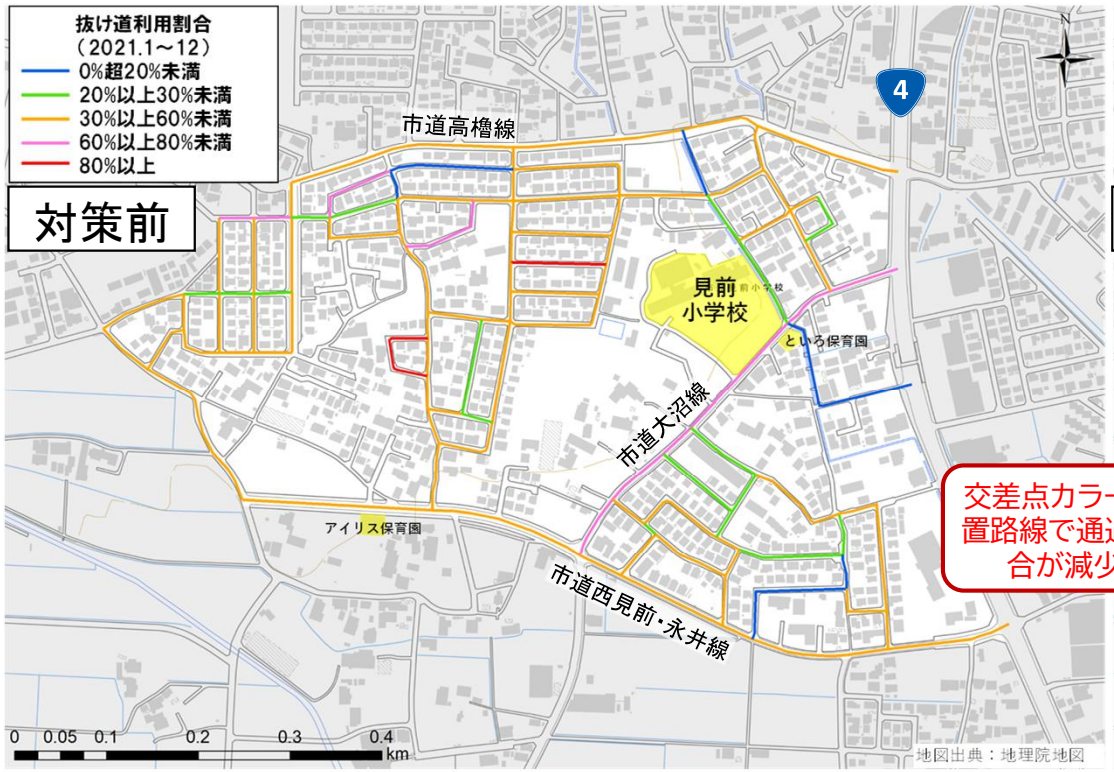
2. 効果検証結果 ①盛岡市西見前地区

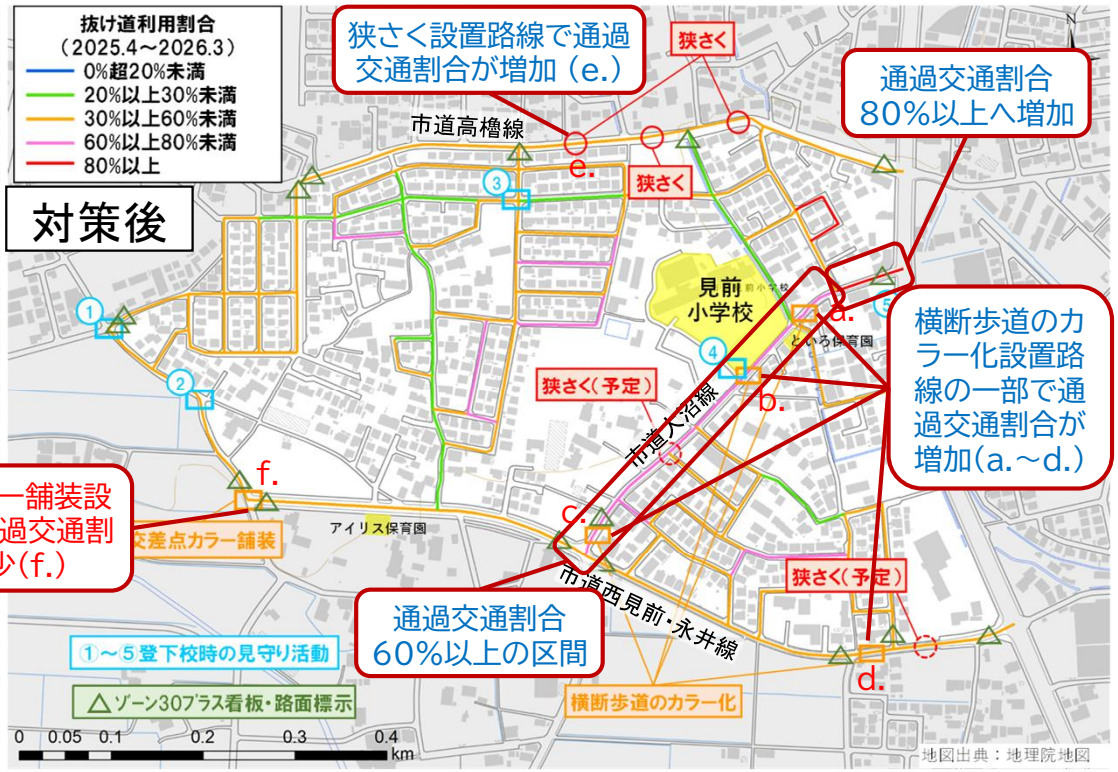
ETC2.0プローブデータによる分析結果
通過交通割合

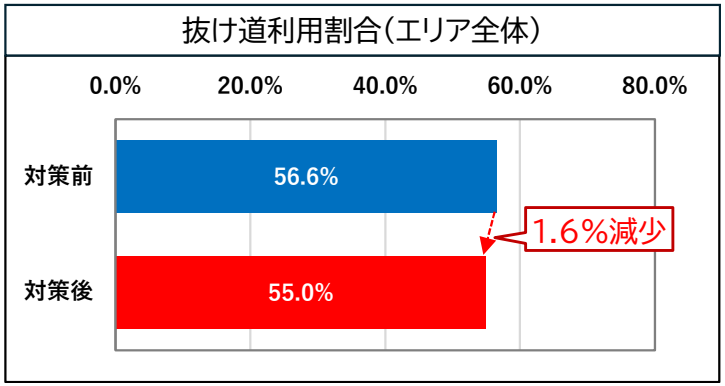
国土交通省

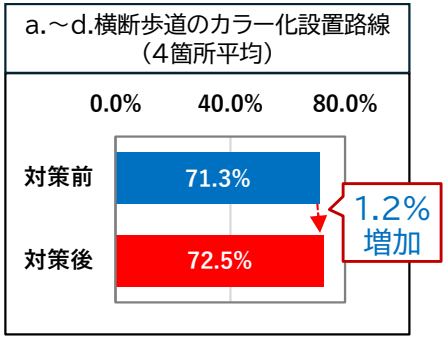
- エリア全体では、**通過交通の割合**が約56.6%から対策後約55.0%へ、**約1.6%減少**。
- **交差点カラー舗装設置路線で通過交通割合の減少**が認められるが、**見前小南側の大沼線では通過交通割合60～80%以上の区間が存在**。

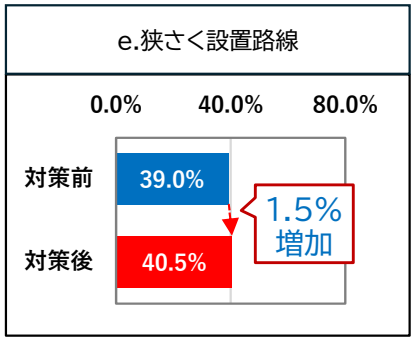
■ 対策前後の効果（抜け道利用割合）

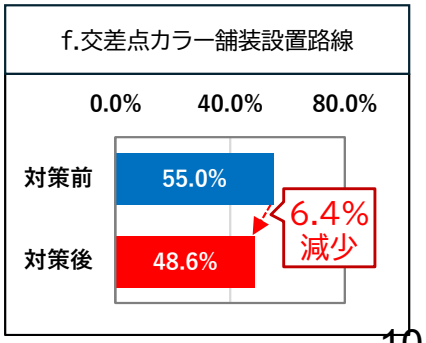












データ出典：ETC2.0プローブデータ（2021.1～12平日昼間12h、2025.4～2026.3平日昼間12h ）

2. 効果検証結果 ①盛岡市西見前地区 アンケート結果

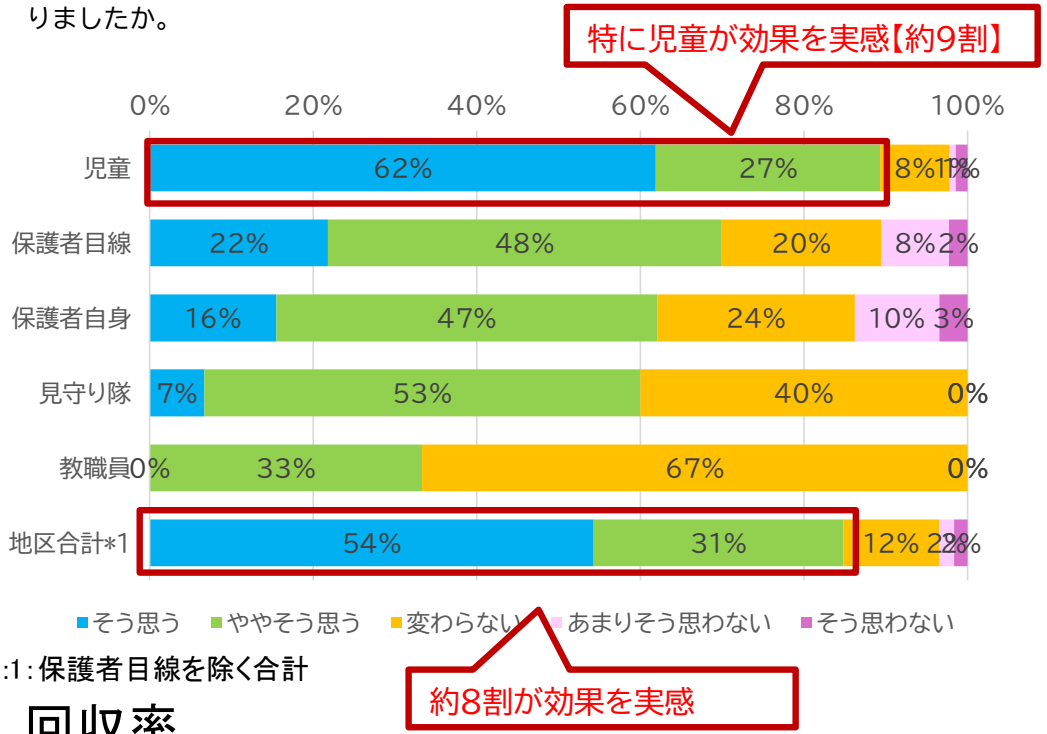
国土交通省

- 【徒歩】地区全体で**安全・安心に歩けるようになったと約８割が実感（特に児童が効果を実感【約9割】）**。
- 【自転車】地区全体で**安全・安心に自転車で走れるようになったと約５割が実感**。
- 【自動車・バイク】地区全体で**スピードを落とすようになったと約9割の方が実感**。

■ 実感による効果（アンケート調査結果）

総合的な効果【徒歩】

質問：この地区で全体的に自動車の速度が落ち、安全・安心に歩けるようになりましたか。



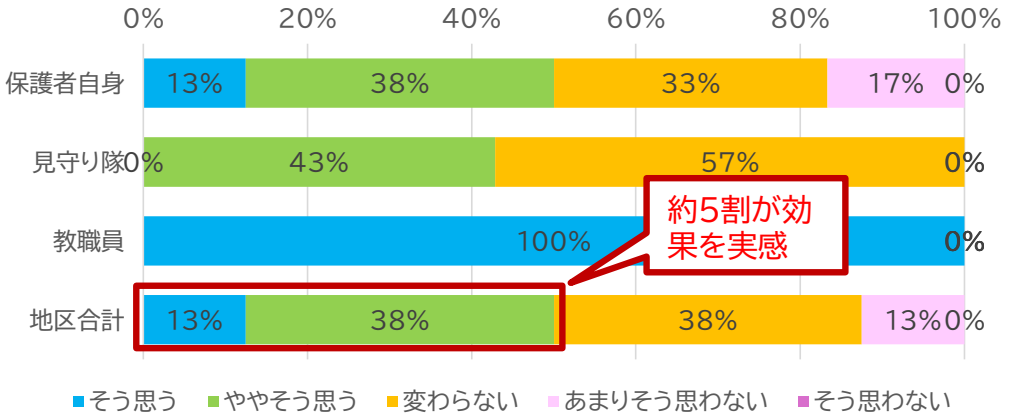
:1：保護者目線を除く合計

■ 回収率

実施時期：2024年11月～12月	見前小学校				
	児童（web）	保護者（web、紙）	教職員（web）	見守り隊（web、紙）	計
配布数・対象者数	500名	375名	37名	40名	952名
回答数	454名	152名	37名	30名	673名
回収率	91%	41%	100%	75%	71%

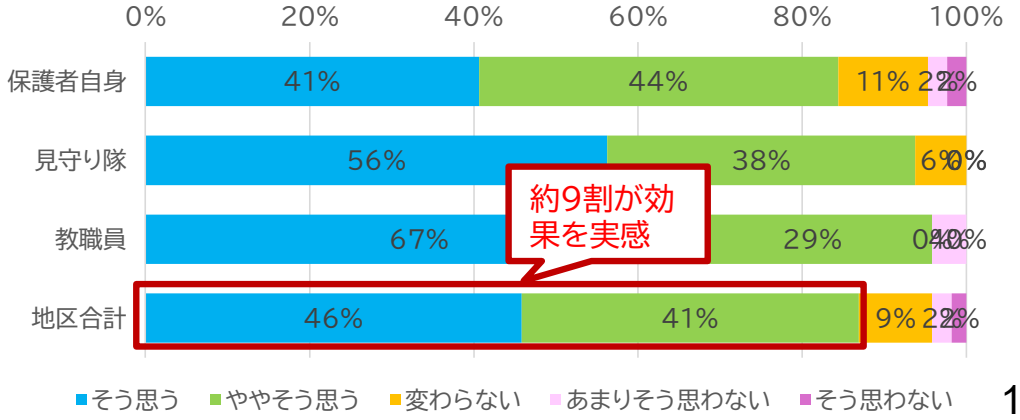
総合的な効果【自転車】

質問：この地区で全体的に自動車の速度が落ち、自転車で安全・安心に行けるようになりましたか。



総合的な効果【自動車・バイク】

質問：この地区を自動車やバイクで走行する際、速度を落とすようになりましたか。

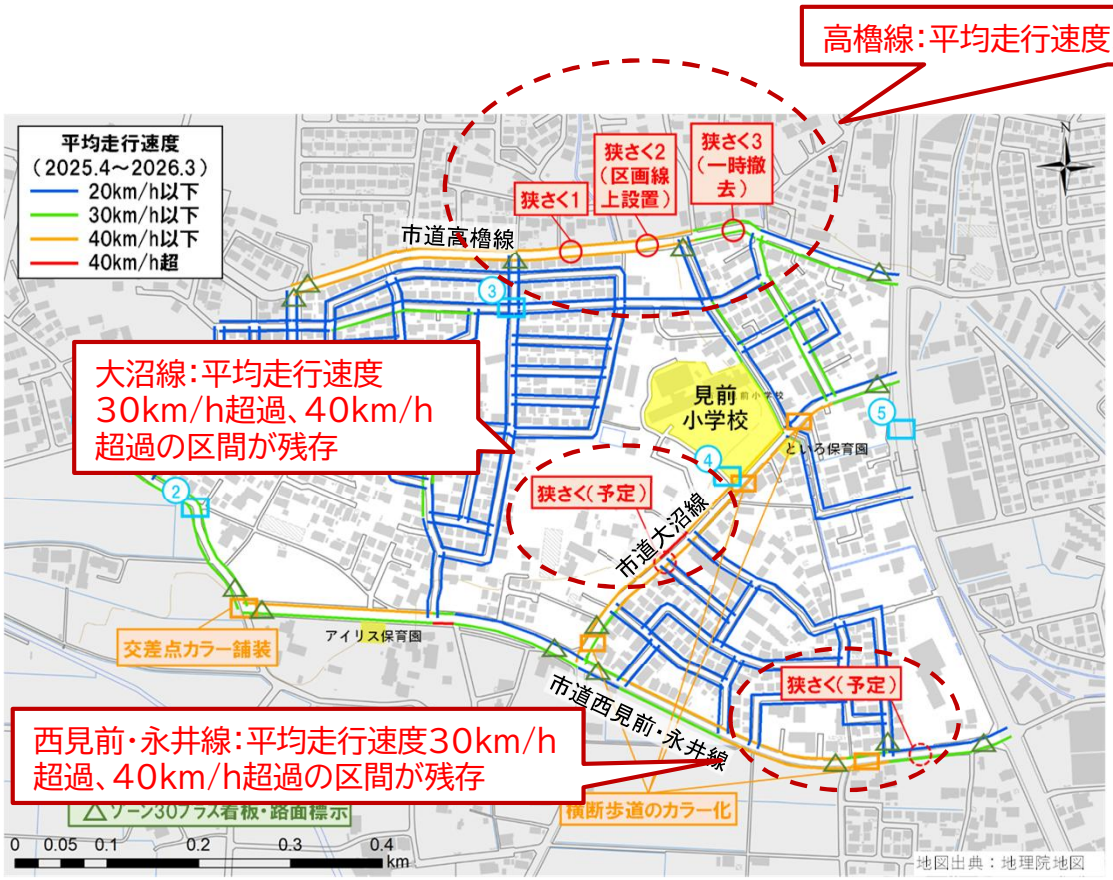


2. 効果検証結果 ①盛岡市西見前地区 まとめ

国土交通省

- エリア全体では、急ブレーキ発生、30km/超過割合、通過交通割合が減少。平均走行速度については増加している。**対策効果の発現もみられるが、引き続きモニタリングを実施**。
- アンケートによる定性的な評価は、**効果の実感は高い**。
- **高櫓線、大沼線、西見前・永井線**は依然として**30km/h以上の区間が残存**。特に**大沼線では通過交通割合も高い**。

⇒今後、盛岡市にて、警察・地元協議及び生活道路の法定速度引下げの経過を踏まえ、利用実態・速度状況・維持管理面を総合的に勘案し、中長期対策【狭さく（予定）】等を検討する。





2. ゾーン30プラス 効果検証結果（続報）②盛岡市 向中野（むかいなかの）地区

国土交通省

- 盛岡市向中野地区は、向中野小学校周辺の「ゾーン30プラス」エリアであり、エリア内では当該小学校指定の通学路が存在する。
- 令和4年度に整備計画が策定され、**令和7年3月に短期対策が完了。**

「ゾーン30プラス」整備計画（岩手県盛岡市 向中野（むかいなかの）地区）

■エリア概要

・本地区は幹線道路に隣接するエリアで小学校のほか幼稚園や高校が立地している。エリア内を分断するように走行する車両や、幹線道路から通過する車両が多い。

位置図



■目的・対策

・時速30km/hを超過する車両が多く、急減速が多発している。
・安全対策として交差点マークやシケインなどの事業を実施。

■主な対策内容

【警察（盛岡東警察署（TEL:019-606-0110）】

・交通違反取締、最高速度30km/h区域規制

【道路管理者（盛岡市役所建設部道路管理課（TEL:019-651-4111）】

・スムーズ横断歩道、カラー舗装、シケイン（クランク型）
ゾーン30プラス看板設置、交差点クロスマーク、狭さく

【地域（向中野（むかいなかの）小学校、地域住民等）】

・登下校時の見守り活動

※対策内容の詳細については、上記の問い合わせ先にご連絡ください。



出典：国土地理院地図

■対策の実施状況



横断歩道カラー舗装【完了】



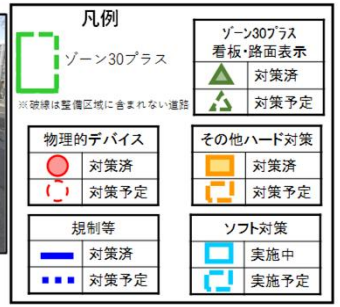
狭さく【予定（イメージ）】



シケイン（クランク型）【完了】



交差点クロスマーク【完了】



※今後、実施した対策の効果検証を行い、更なる対策の必要性等について検討していきます。（ＰＤＣＡサイクルの継続的な取組）

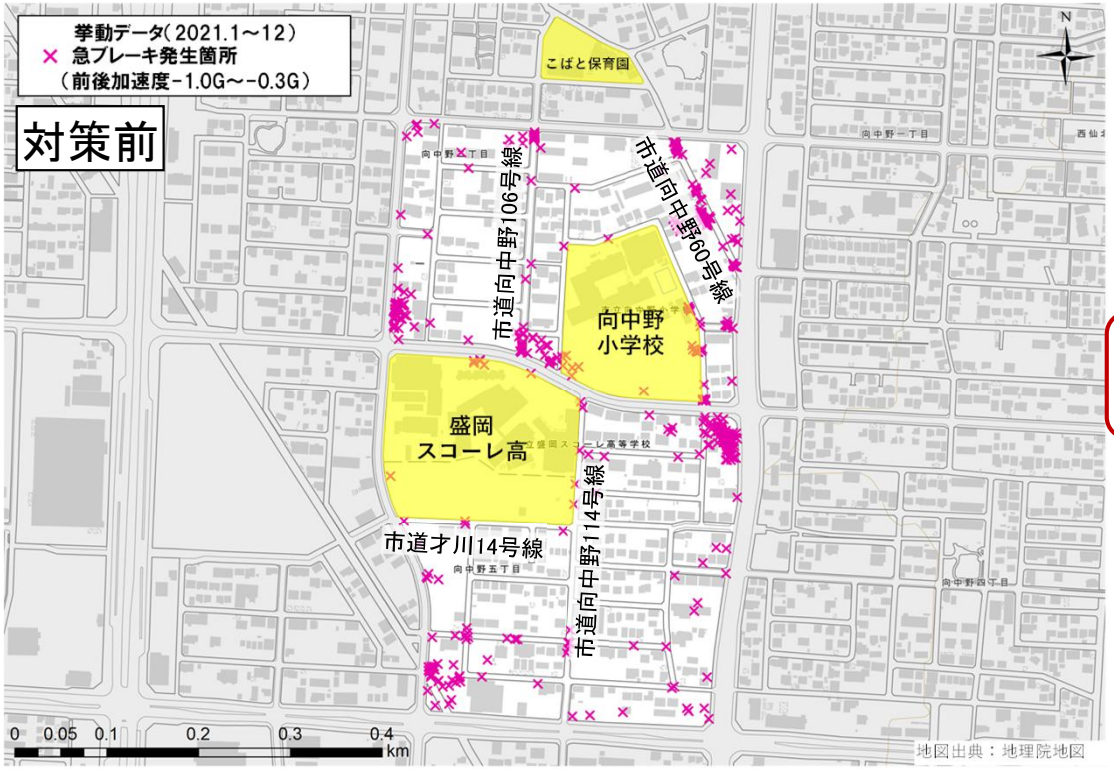
2. 効果検証結果 ②盛岡市向中野地区

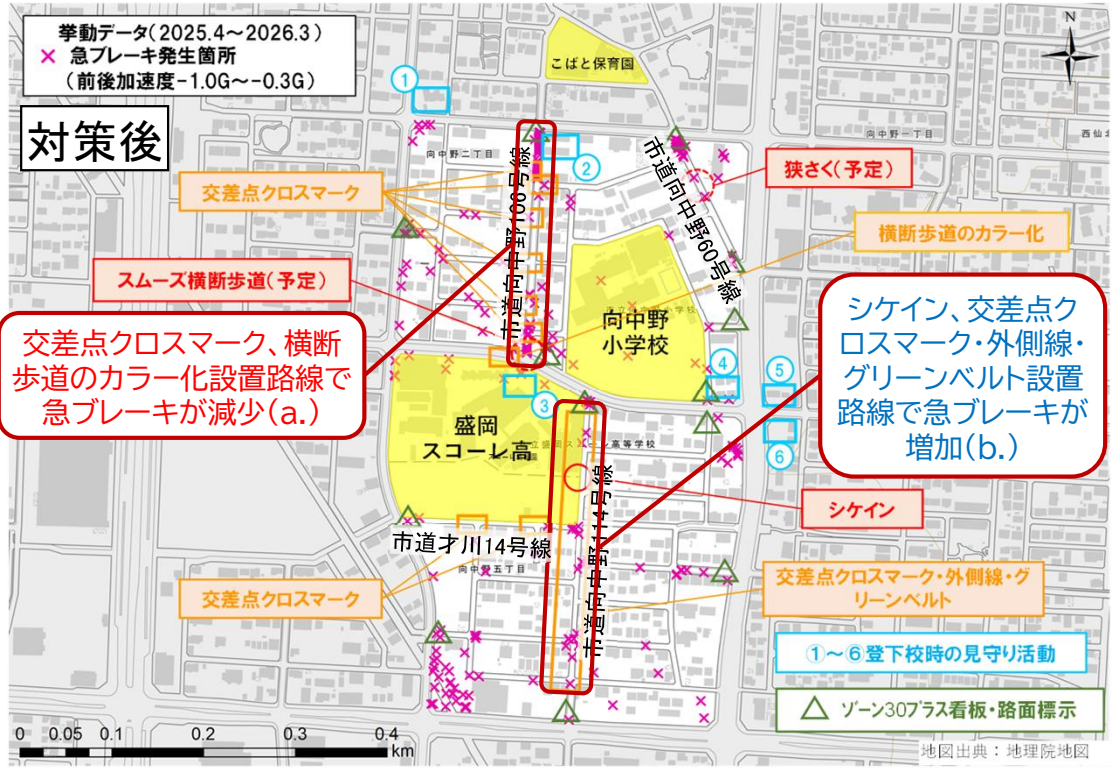
ETC2.0プローブデータによる分析結果
急ブレーキ

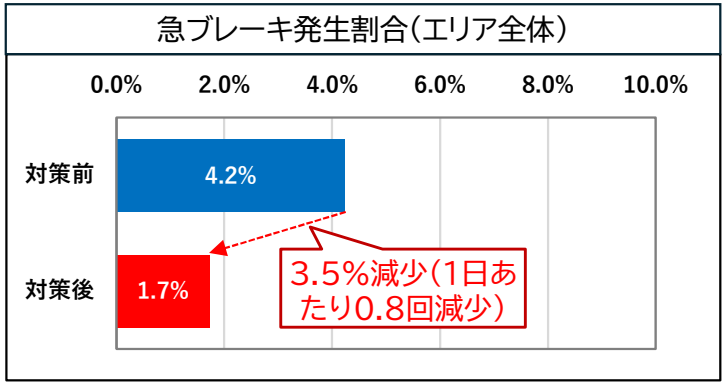
国土交通省

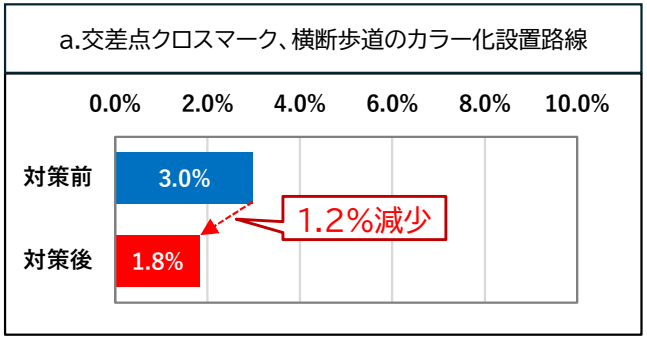
- エリア全体では、**急ブレーキ発生**が約4.2%から対策後約1.7%へ**約3.5%減少（1日あたり約0.8回減少）**。
- **向中野106号線（交差点クロスマーク、横断歩道のカラー化設置路線）で急ブレーキが減少**。改善傾向にある。

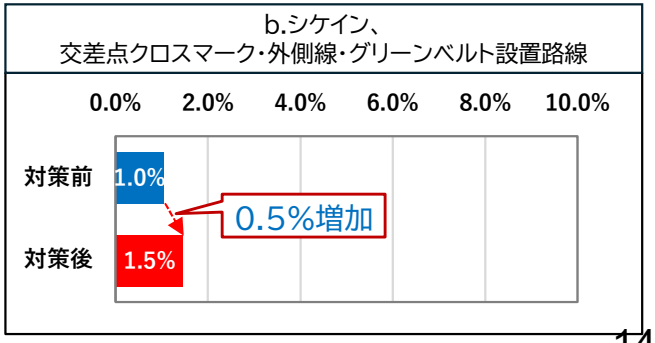
■ 対策前後の効果（急ブレーキ発生回数）











データ出典：ETC2.0プローブデータ（2021.1～12平日昼間12h、2025.4～2026.3平日昼間12h ）

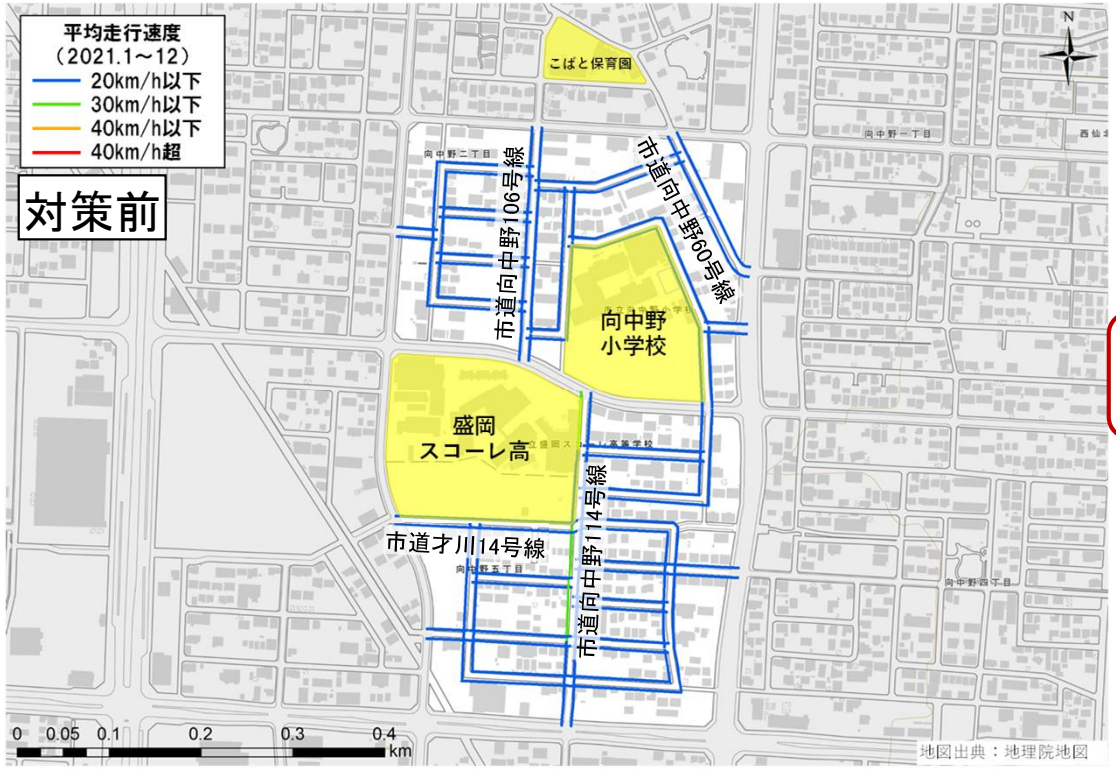
2. 効果検証結果 ②盛岡市向中野地区

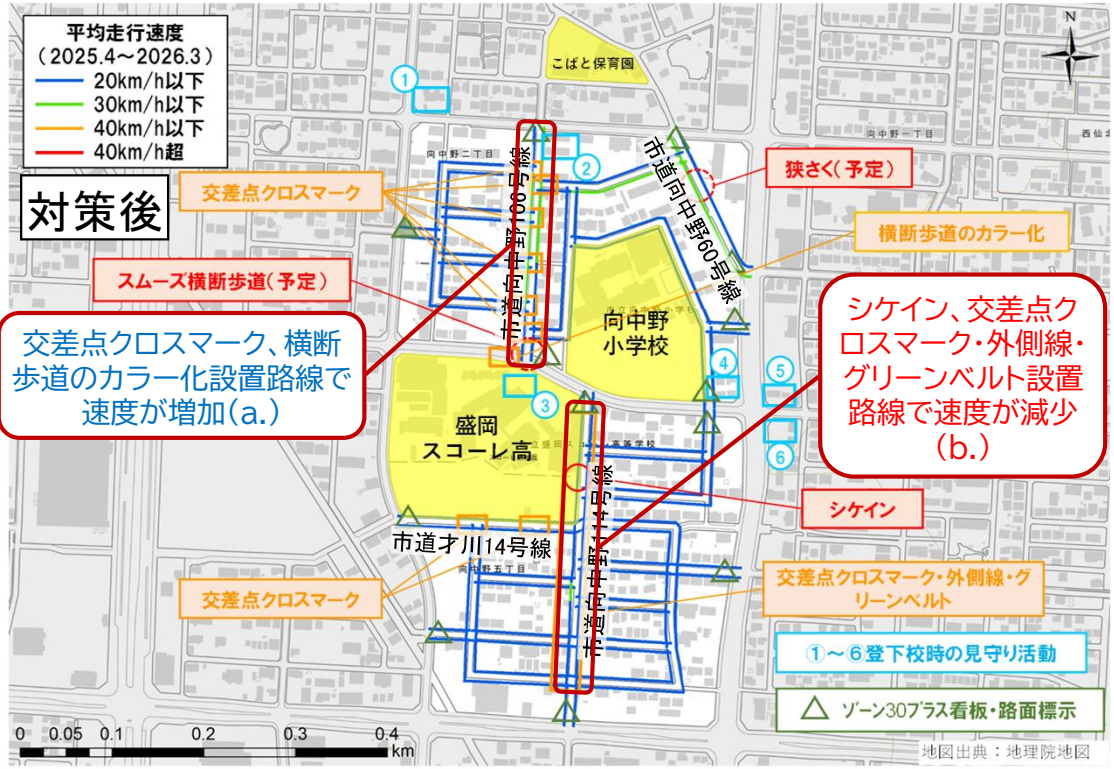
ETC2.0プローブデータによる分析結果
平均走行速度

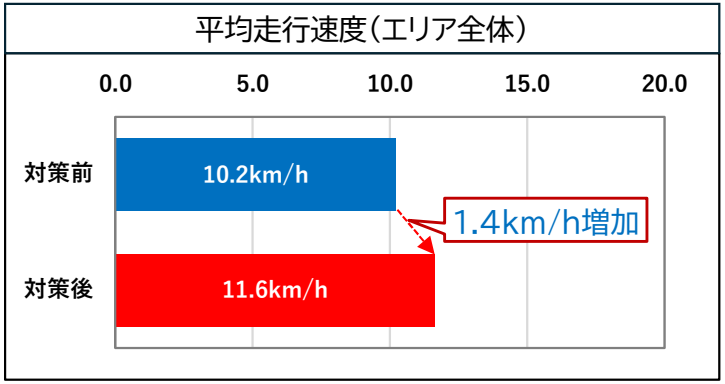
国土交通省

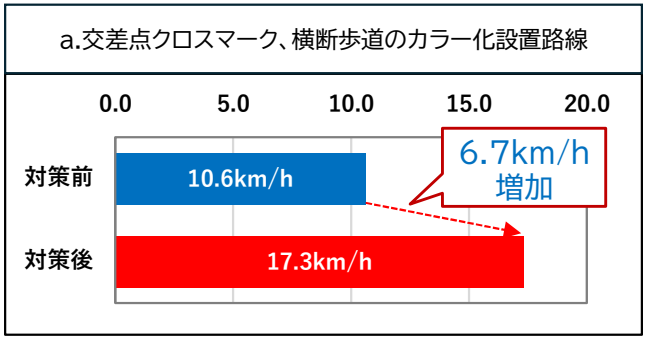
- エリア全体では、**平均走行速度**が約10.2km/hから対策後約11.6km/hへ、**約1.6km/h増加**。30km/hの状態は維持。
- **向中野114号線（シケイン、交差点クロスマーク、外側線・グリーンベルト設置路線）で平均走行速度が減少。**
- 向中野106号線（交差点クロスマーク、横断歩道のカラー化設置路線）では平均走行速度が増加。

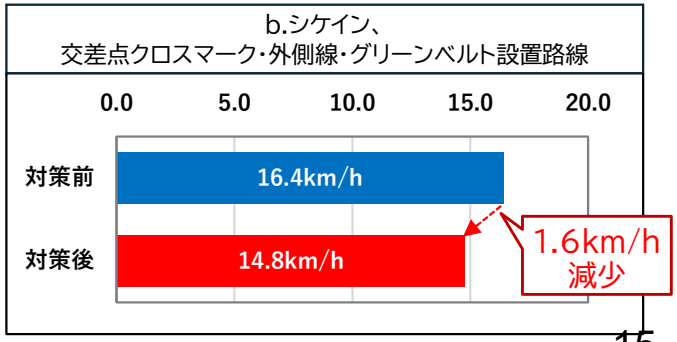
■ 対策前後の効果（平均走行速度）











データ出典：ETC2.0プローブデータ（2021.1～12平日昼間12h、2025.4～2026.3平日昼間12h ）

2. 効果検証結果 ②盛岡市向中野地区

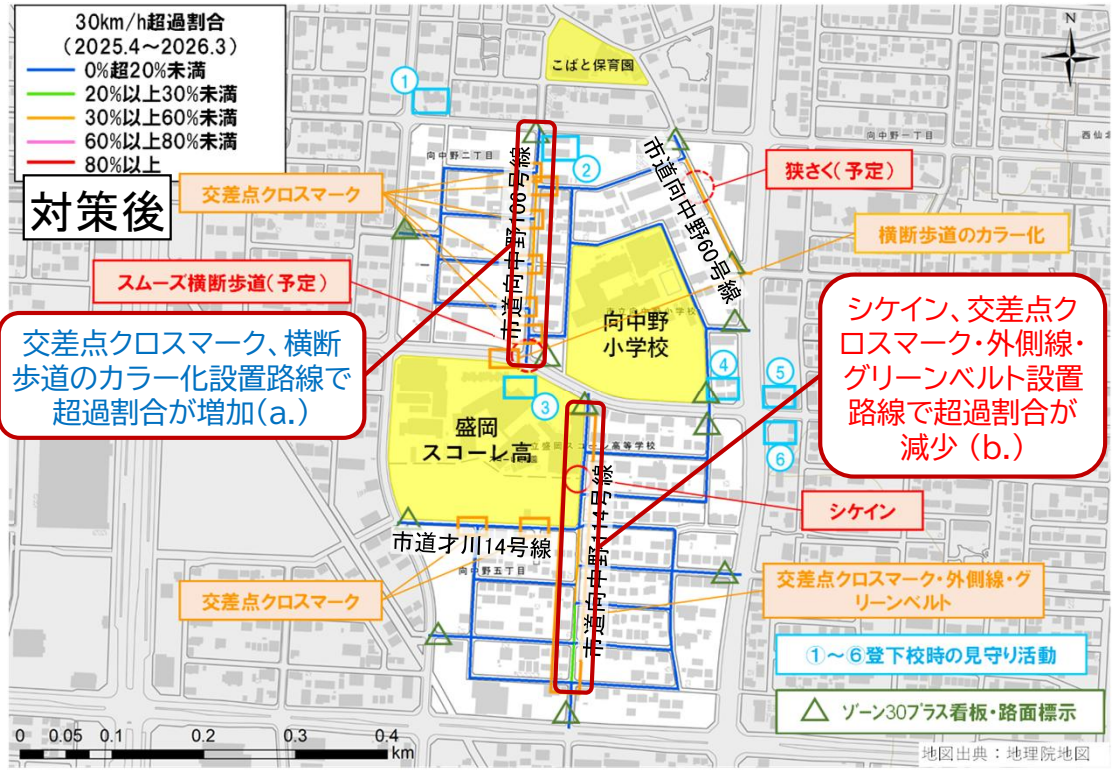
ETC2.0プローブデータによる分析結果
30km/h超過割合

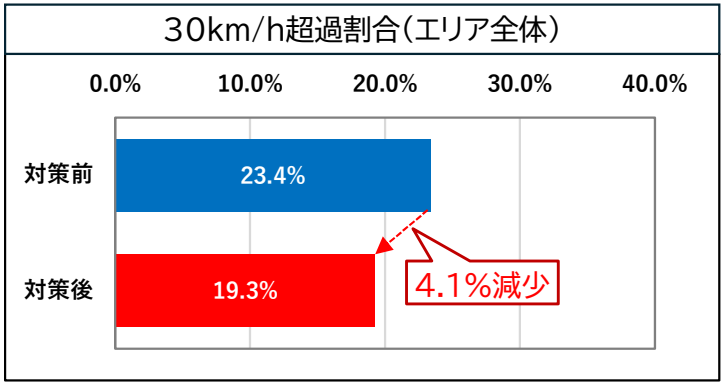
国土交通省

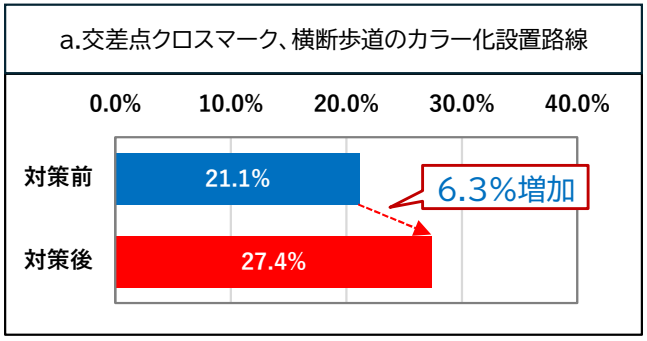
- エリア全体では、**30km/h超過割合が**約23.4%から対策後約19.3%へ、**約4.1%減少**。
- **向中野114号線（シケイン、交差点クロスマーク、外側線・グリーンベルト設置路線）で30km/h超過割合が大きく減少（15.5%減少）。**

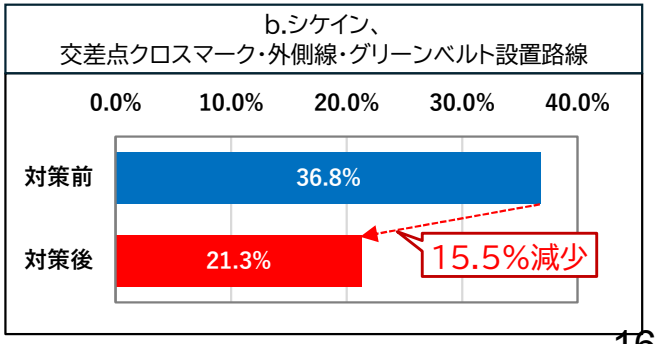
■ 対策前後の効果（30km/h超過割合）











データ出典：ETC2.0プローブデータ（2021.1～12平日昼間12h、2025.4～2026.3平日昼間12h ）

2. 効果検証結果 ②盛岡市向中野地区

ETC2.0プローブデータによる分析結果
通過交通割合

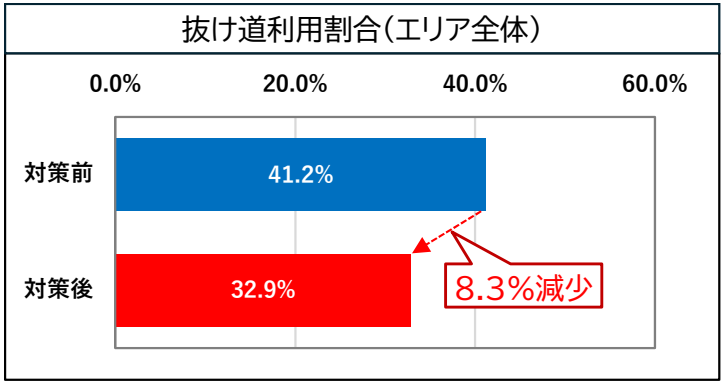
国土交通省

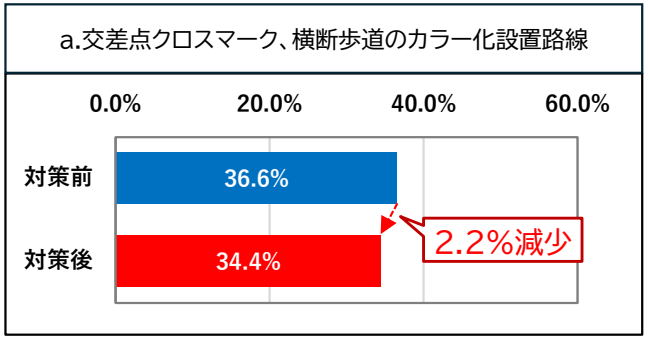
- エリア全体では、**通過交通の割合が**約41.2%から対策後約32.9%へ、**約8.3%減少**。
- **向中野114号線（シケイン、交差点クロスマーク、外側線・グリーンベルト設置路線）で通過交通割合が大きく減少（20.9%減少）。**

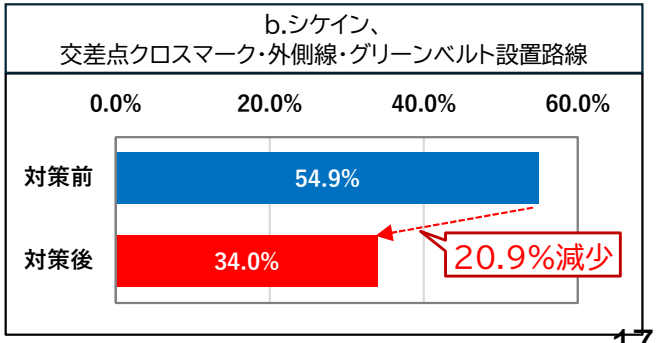
■ 対策前後の効果（抜け道利用割合）











データ出典：ETC2.0プローブデータ（2021.1～12平日昼間12h、2025.4～2026.3平日昼間12h ）

2. 効果検証結果 ②盛岡市向中野地区 アンケート結果

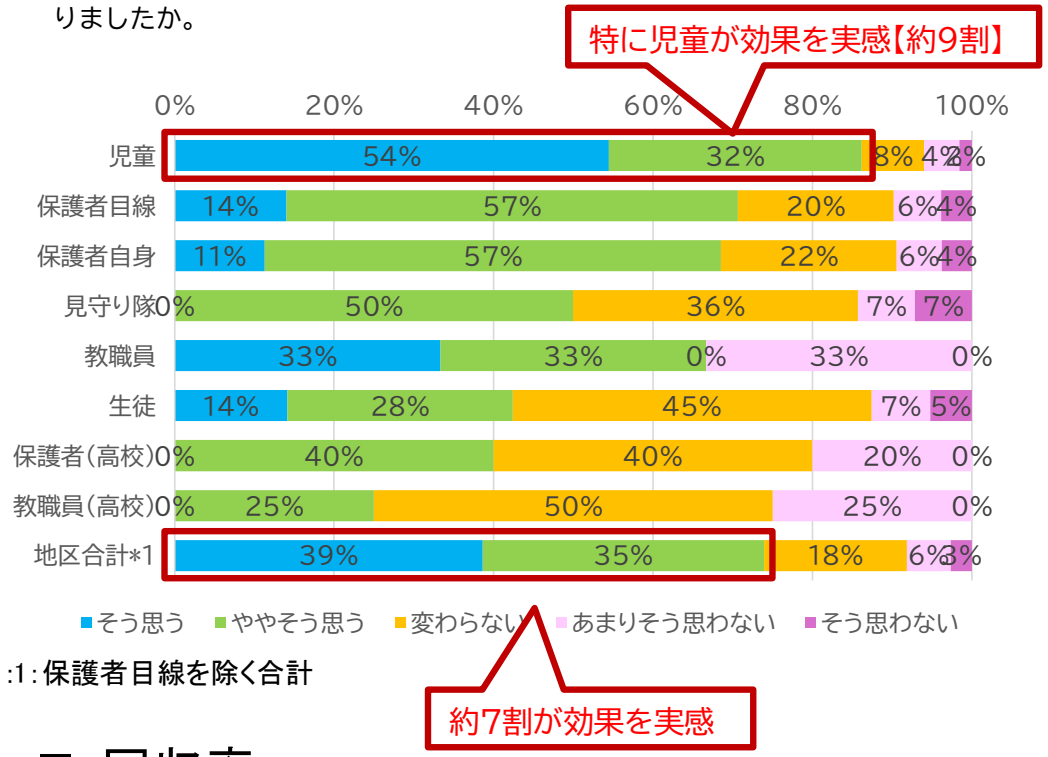
国土交通省

- 【徒歩】地区全体で**安全・安心に歩けるようになったと約7割が実感（特に児童が効果を実感【約9割】）**。
- 【自転車】地区全体で**安全・安心に自転車で走れるようになったと約５割が実感**。
- 【自動車・バイク】地区全体で**スピードを落とすようになったと約9割の方が実感**。

■ 実感による効果（アンケート調査結果）

総合的な効果【徒歩】

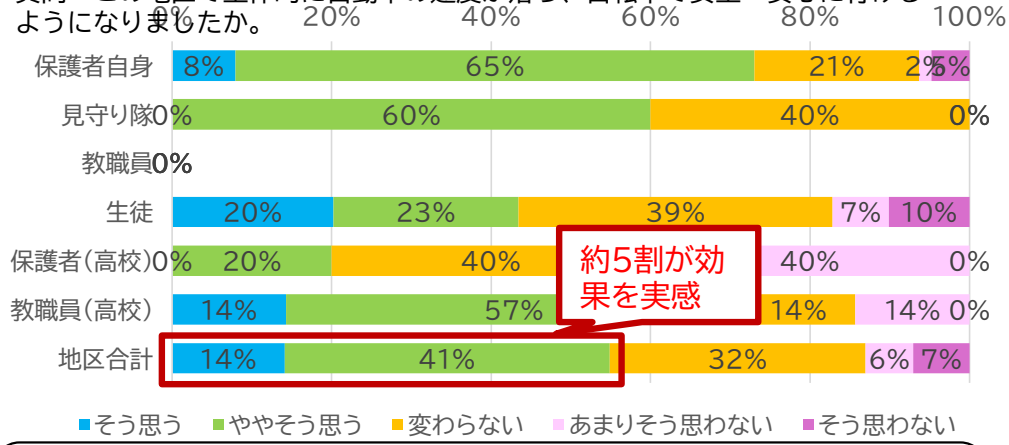
質問：この地区で全体的に自動車の速度が落ち、安全・安心に歩けるようになりましたか。



:1：保護者目線を除く合計

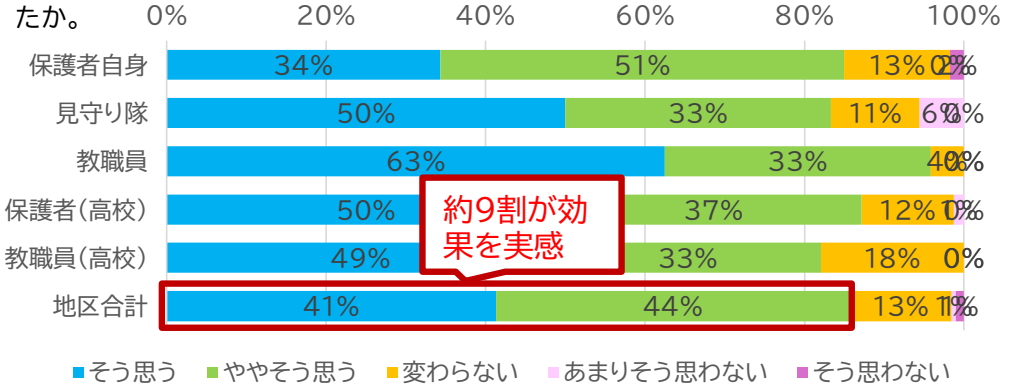
総合的な効果【自転車】

質問：この地区で全体的に自動車の速度が落ち、自転車で安全・安心に行けるようになりましたか。



総合的な効果【自動車・バイク】

質問：この地区を自動車やバイクで走行する際、速度を落とすようになりましたか。



■ 回収率

実施時期：2024年11月～12月	向中野小学校					スコーレ高等学校				地区全体
	児童（web）	保護者（web、紙）	教職員（web）	見守り隊（web、紙）	計	生徒（web、紙）	保護者（web）	教職員（web）	計	合計
配布数・対象者数	915名	697名	65名	42名	1,719名	426名	426名	73名	925名	2,644名
回答数	707名	284名	29名	27名	1,047名	331名	123名	51名	505名	1,552名
回収率	77%	41%	45%	64%	61%	78%	29%	70%	55%	59%

3. 効果検証結果 ②盛岡市向中野地区 まとめ

国土交通省

- エリア全体では、急ブレーキ発生、30km/超過割合、通過交通割合が減少。平均走行速度については増加している。**対策効果の発現もみられるが、引き続きモニタリングを実施。**
- アンケートによる定性的な評価は、**効果の実感は高い。**
- **向井中野106号線**は、**平均走行速度・30km/h超過割合が増加したものの、急ブレーキ・抜け道利用割合が減少。全体の安全性は評価できると考えられる。**
- **向中野60号線**は、計画箇所の中で**唯一通過交通割合が増加。**

⇒**今後、盛岡市にて、警察・地元協議及び生活道路の法定速度引下げの経過を踏まえ、利用実態・速度状況・維持管理面を総合的に勘案し、中長期対策【スムーズ横断歩道（予定）、狭さく（予定）】等を検討する。**



向中野60号線：計画箇所の中で唯一、通過交通割合が増加。

向中野106号線：平均走行速度・30km/h超過割合が増加したものの、急ブレーキ・抜け道利用割合が減少。

3. ゾーン30プラス 効果検証実施方針（案） ①矢巾町 煙山小学校地区

- 矢巾町煙山小学校地区は、煙山小学校周辺の「ゾーン30プラス」エリアである。
- 令和6年度に整備計画が策定され、**令和7年12月に短期・中長期対策が完了**。

「ゾーン30プラス」 整備計画（岩手県矢巾町 煙山小学校地区）

■エリア概要

・本地区は、幹線道路に隣接するエリアであり、エリアの中心部に小学校が立地。エリア内を分断するように走行する車両や、幹線道路からの通過交通の車両が多い。

位置図



■目的・対策

・通学路として利用している小学校の児童が、道路を横断する箇所が複数存在している。
・児童の安全対策として、狭さくや、交差点のカラー舗装などの事業を実施。

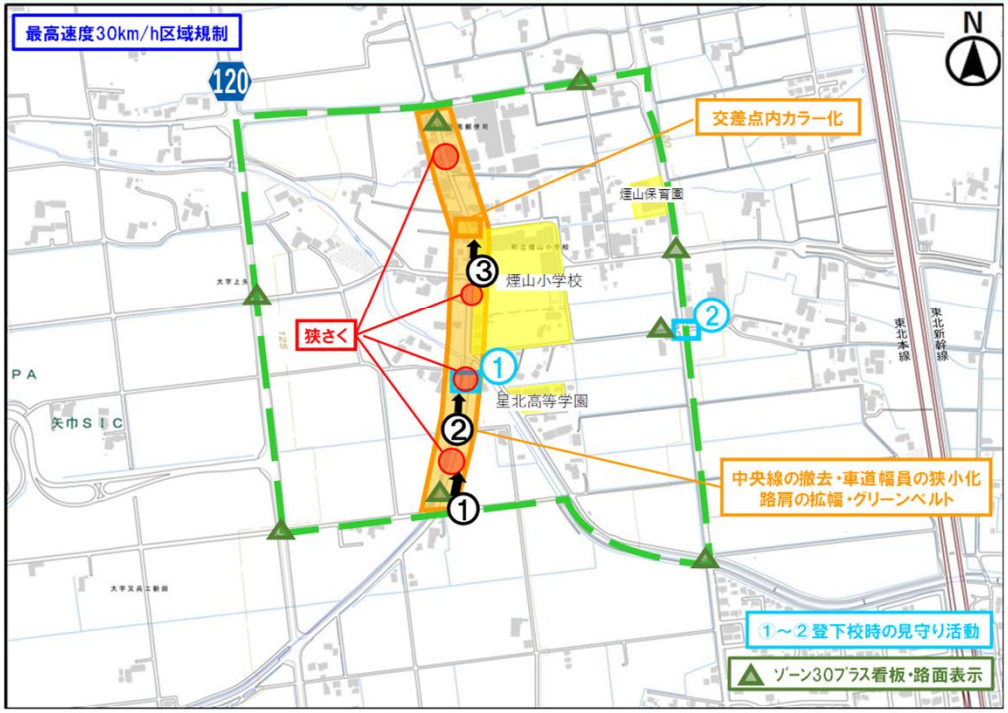
■主な対策内容

【警察（紫波警察署（TEL:019-671-0110）】
・最高速度30km/h区域規制

【道路管理者（矢巾町役場道路住宅課（TEL:019-611-2632）】
・狭さく、カラー舗装、中央帯撤去、車道幅員狭小化、路肩拡幅、ゾーン３０プラス看板および路面表示

【地域（地域住民等）】
・登下校時の見守り活動

※対策内容の詳細については、上記の問い合わせ先にご連絡ください。



出典：国土地理院地図

■対策の実施状況



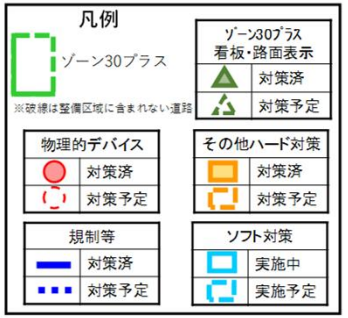
狭さく・中央線の撤去 など【完了】



狭さく・グリーンベルト など【完了】



交差点内カラー化【完了】



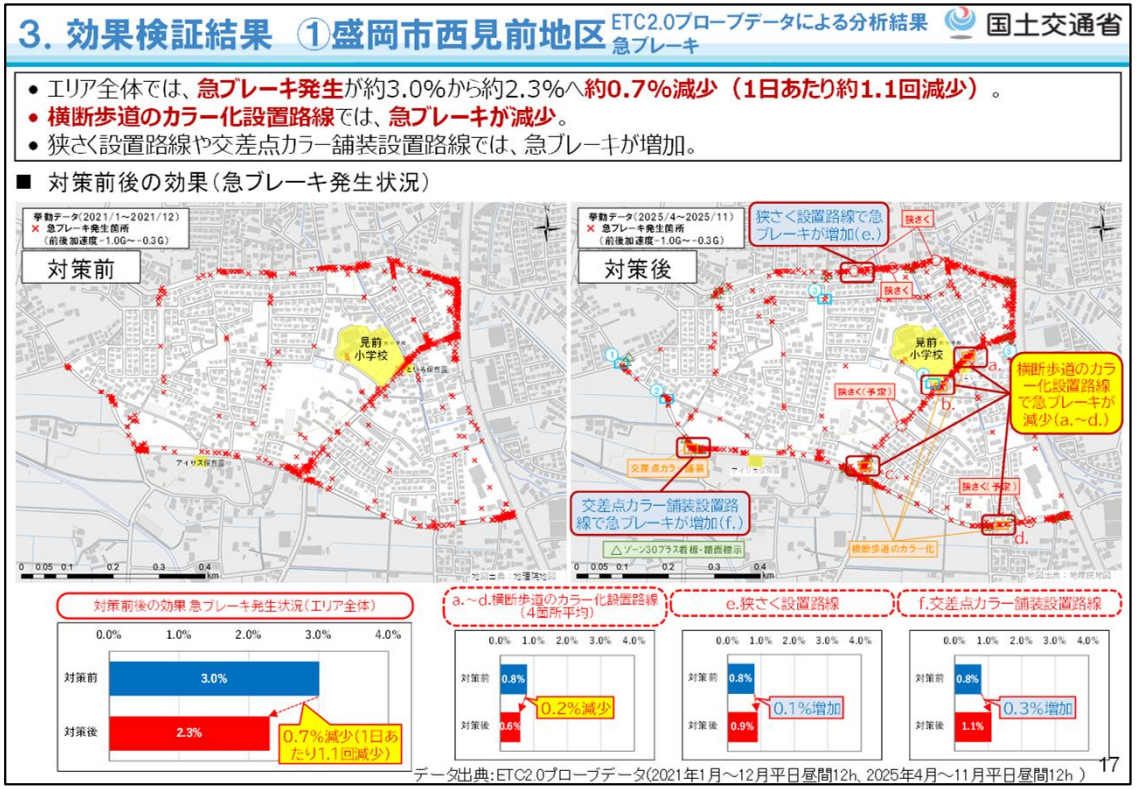
※　今後、実施した対策の効果検証を行い、更なる対策の必要性等について検討していきます。（ＰＤＣＡサイクルの継続的な取組）

3. ゾーン30プラス 効果検証実施方針（案） ①矢巾町 煙山小学校地区

国土交通省

- 検証手法①：ETC2.0プローブデータを用いて、対策エリア内の急挙動、走行速度、通過交通など、**対策前後の比較検証を実施**する予定。
- 検証手法②：ゾーン内の学校、住民等を対象に、**当該地区の安全性・安心感の向上について、アンケート調査を実施**する予定。

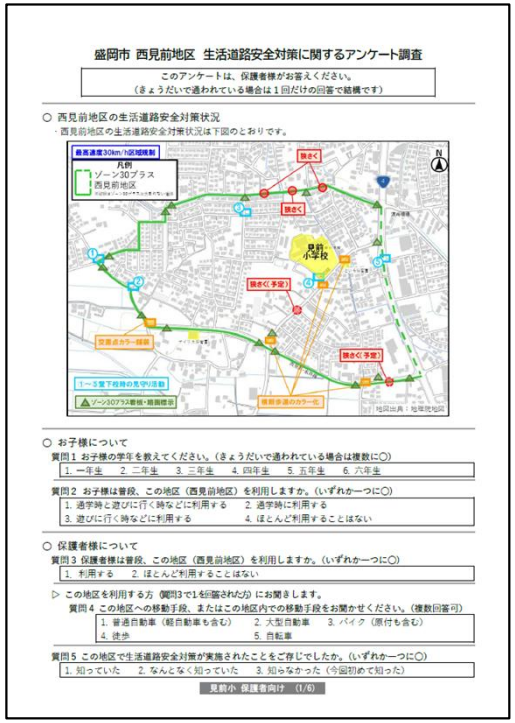
■ 検証手法①：ETC2.0プローブデータによる分析



急ブレーキ発生状況分析例（令和7年度第2回安推連資料）

ETC2.0データの分析結果を対策前後比較して効果検証を実施
【分析項目】・急ブレーキ発生状況　・平均走行速度
・30km/h超過割合　・抜け道利用割合

■ 検証手法②：アンケート調査



地区内の小学生、保護者、教職員等に対するアンケート調査を実施し、効果の実感等を確認
【調査項目】・対策箇所の利用の有無 ・移動手段
・対策の認知度 ・安全性、安心感の変化 ・対策の満足度
・ゾーン30プラス整備事業に関する意見・要望等

4. 今後のスケジュール

国土交通省

- 今回は、盛岡市西見前地区、向中野地区の効果検証結果、矢巾町煙山小学校地区の効果検証方針（案）を報告した。
- 次回は、矢巾町煙山小学校地区の効果検証結果の報告を予定している。

■スケジュール（案）

時　期	内　容
令和8年8月 （第1回安推連（書面））	• 盛岡市西見前地区、向中野地区の効果検証結果の報告 • 矢巾町煙山小学校地区の効果検証手法の審議
令和9年2月 （第2回安推連）	• 矢巾町煙山小学校地区の効果検証の結果報告
令和9年度以降	• 雫石町雫石小学校地区の効果検証に関する審議 • その他についても、継続的に審議予定